

中海・宍道湖・大山圏域市長会 連携・交流推進事業

全国街道交流会議 第13回全国大会山陰大会



青石畳通り (島根県松江市美保関町)



Photo: Morishima Koichi



〈大会テーマ〉

小泉八雲の物語でつなぐ山陰

～文化資源として活かす作家と文学～

〈プログラム〉

第1部: 活動報告

第2部: 基調講演

「小泉八雲の物語でつなぐ山陰
～文化資源として活かす作家と文学～」

小泉八雲記念館館長: 小泉 凡

第3部: パネルディスカッション

「中海・宍道湖・大山圏域の将来像」

松江市長、安来市長、米子市長、出雲市長、境港市長

第4部: 特別公演

「小泉八雲朗読のしらべ -八雲彷徨-」

佐野史郎、山本恭司



小泉 凡

令和6年

2月17日(土) 13:00~17:00
[受付]12:30~ [開場]12:30~

会場

安来市総合文化ホールアルテピア
(島根県安来市飯島町70番地)

入場無料〈要整理券・全席自由〉

申込フォーム、お電話でお申し込みください。入場整理券をお送りします。



申込フォーム

主催: 全国街道交流会議第13回全国大会「山陰大会」実行委員会

中海・宍道湖・大山圏域市長会、松江市、安来市、米子市、出雲市、境港市、鳥取県西部町村会、
国土交通省中国地方整備局、国土交通省中国運輸局、島根県、鳥取県、(一社)中国建設弘済会、
西日本高速道路(株)、特定非営利活動法人全国街道交流会議

問い合わせ先: 全国街道交流会議第13回全国大会「山陰大会」実行委員会

松江市文化スポーツ部文化財課 (島根県松江市末次町86番地)

TEL:0852-55-5956 FAX:0852-55-5658 Mail:rekimachi@city.matsue.lg.jp

中海・宍道湖・大山圏域市長会 連携・交流推進事業
全国街道交流会議第13回全国大会山陰大会

中海・宍道湖・大山圏域では、古くから街道と水運によって人や物、情報が行き交い、地域間の積極的な交流により、多様な生活文化や風習、景観が形成され現在に至っています。道によって繋がり、育まれてきた各地域の魅力は、明治時代の文豪小泉八雲によって世界へ発信され、今なお「日本の面影」として国内外の人々の心を惹きつけています。

「山陰大会」では、小泉八雲の精神性と作品登場地を「文化資源」として結びつけ、着地型の「観光資源」として活かす方法を考えます。また、小泉八雲の「多様性を受け入れる精神」を受け継ぎ、山陰に住む人も訪れる人もオープンマインドで交流します。

人々の周遊による地域活性化や経済・観光の振興、他都市圏との広域交流を促進するため、「道」がもつ現代の役割と、圏域の持続可能な未来への可能性を模索します。



小泉八雲
 (写真提供：小泉八雲記念館)

スケジュール

※時間は目安ですのでゆとりをもってお越しください。

- 13:00 ~ 13:15 開会セレモニー
- 13:15 ~ 13:45 <第1部>活動報告
- 13:45 ~ 14:35 <第2部>基調講演
 「小泉八雲の物語でつなぐ山陰
 ～文化資源として活かす作家と文学～」
 講演者：小泉 凡
- 14:45 ~ 15:40 <第3部>パネルディスカッション
 「中海・宍道湖・大山圏域の将来像」
 登壇者：松江市長、安来市長、米子市長、
 出雲市長、境港市長
- 15:55 ~ 16:45 <第4部>特別公演
 「小泉八雲朗読のしらべー八雲彷徨ー」
 朗読パフォーマンス：佐野史郎、山本恭司
- 16:45 ~ 17:00 総括・大会宣言・大会引継ぎ・閉会セレモニー

鳥根県松江市出身である、俳優の佐野史郎さんとギタリストの山本恭司さんによる小泉八雲の作品を題材とした朗読パフォーマンス

プロフィール



こいずみ ほん
 小泉 凡

1961年東京生まれ。成城大学・大学院で民俗学を専攻。1987年に松江へ赴任。鳥根県立大学で教鞭をとりつつ、妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に活かす実践研究や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。2022年度全国日本学士会アカデミア賞を受賞。小泉八雲曾孫。

現在、小泉八雲記念館館長・焼津小泉八雲記念館名誉館長・鳥根県立大学短期大学部名誉教授。日本ベンクラブ会員。

著書は『怪談四代記—八雲のいたずら』（講談社）、『小泉八雲と妖怪』（玉川大学出版）ほか。

